

国際宇宙ステーションを目撃しました

今朝見ました。雲一つない好天。けっこう冷え込んだ朝でしたが、見てる間はそれも忘れえました。

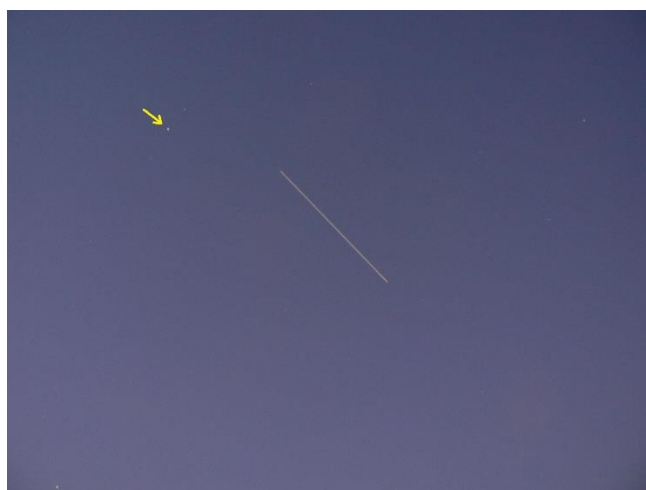
4時半頃。南南東に惑星3つ。
10秒露出 ISO 設定 400 のため明るく写りましたが、
実際は薄明こそあれずっと暗いです。



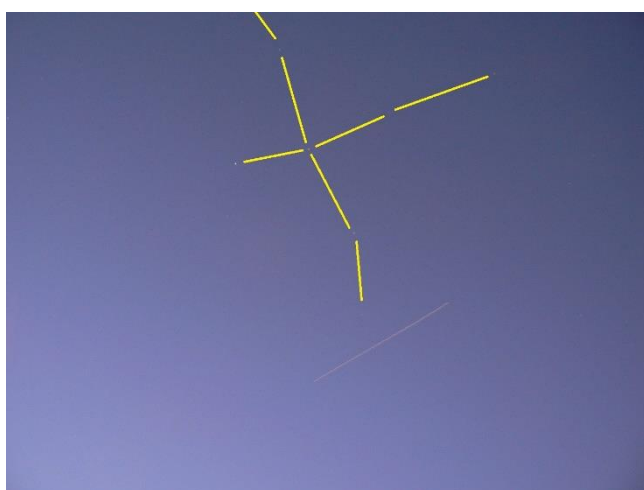
予定時刻、南東に現れました。
木星と同じくらいの明るさ。カメラ感度 ISO 100 に
ここから変更。5秒露出でこれだけ動きます。



南の見上げる高さを通過。15秒露出。
写真を見て気づきましたが、わし座のあたりなん
ですね。矢印がアルタイル（牽牛）。



やがて北東へ移動。15秒露出。
はくちょう座付近を左下へ動いていきました。
左端がデネブ、白鳥は右斜め上へ飛んでいます。



今朝を含めて5日間続けて朝に見えるのですが、時刻や通り道は毎回違います。

その情報は昨日掲載したものを見てください。

人工衛星は太陽光を反射して光ります。「見え始め」や「見え終わり」の仰角がずいぶん高い場合がありますが、そこが地球の影の境目ということなのです。夜空に突然現れたり、逆に途中で突然消えることがあります。地球の影から出てきた、逆に影に入った、という瞬間で、地球の形や、自分・太陽・大地・飛翔体の位置関係を想像できる興味深い瞬間です。

（この観察は「課題」ではありません。無理に見なくていいですから。安全第一。）